



各位

平成 28 年 4 月 28 日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
 代表者 代表取締役会長兼社長 川崎 博也
 (コード番号 5406)
 問合せ先 秘書広報部長 楠山 泰司
 (TEL 03-5739-6010)

業績予想に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)の連結業績予想について、お知らせいたします。

記

平成 29 年 3 月期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)の連結業績につきまして、今般その見通しを得ましたのでお知らせいたします。

平成 29 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期第 2 四半期実績(A)	928,629	47,065	33,082	13,428	3.70
今回発表予想(B)	860,000	25,000	10,000	5,000	1.37
増減額(B-A)	△68,629	△22,065	△23,082	△8,428	
増減率(%)	△7.4	△46.9	△69.8	△62.8	

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純損益	1 株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前連結会計年度実績(A)	1,822,805	68,445	28,927	△21,556	△5.93
今回発表予想(B)	1,750,000	65,000	35,000	20,000	5.50
増減額(B-A)	△72,805	△3,445	6,072	41,556	
増減率(%)	△4.0	△5.0	21.0	—	

業績予想の概要

当期の我が国経済は、中国、新興国経済の減速影響は懸念されますが、引き続き企業の設備投資、公共投資などは底堅く推移し、緩やかな回復基調が継続するものと想定されます。海外においては、米国や欧州では内需を中心とした景気回復傾向が継続すると想定されるものの、中国、新興国では経済成長の減速長期化が懸念されます。

当社グループにおいては、自動車向けの需要は回復傾向となり、造船向けなどの需要も概ね堅調に推移するものと想定されます。一方、アジア地域の鋼材の供給過剰解消には時間を要する見込みである他、中国経済の減速、原油安などを背景とした新興国、資源国のエネルギー関連需要の停滞、景気低迷などが懸念されます。

このような中、鋼材やアルミ・銅圧延品などの販売数量や販売価格及び鉄鋼主原料価格など、未確定な要素については一定の想定をした上で、当期の業績については、売上高は1兆7,500億円程度、営業利益は650億円程度、経常利益は350億円程度、親会社株主に帰属する当期純利益は200億円程度と見通しております。

詳細につきましては、本日発表の「平成28年3月期 決算短信」【添付資料】1. 経営成績・財政状態に関する分析(1)経営成績に関する分析を併せてご参照下さい。

(注)上記の業績予想につきましては本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上